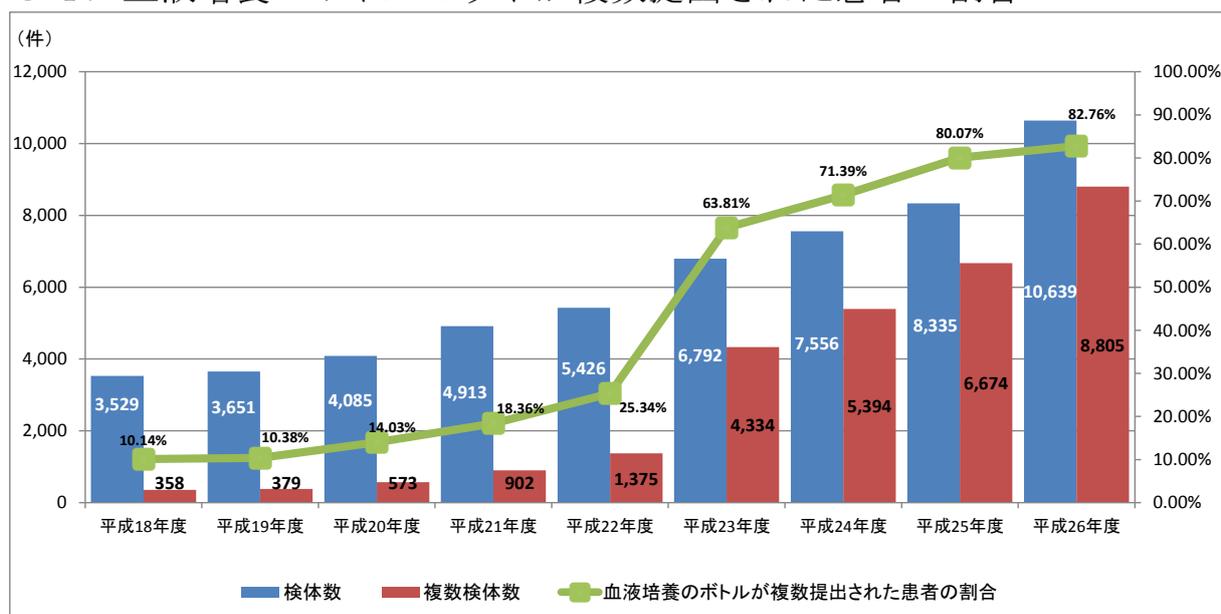


## 8 4. 血液培養のボトルセットが複数提出された患者の割合



血液培養検査は、敗血症(菌血症)の原因菌を特定するなど、診断において重要な検査項目である。しかし、血液培養検査では皮膚の常在菌が感染の原因菌となる場合もあり、検出菌が敗血症の起炎菌かコンタミネーションによるものであるかを区別するために2セット以上の検査が推奨されている。

当院での2セット以上の血液培養検査の実施率は年々増加傾向にある。未熟児や採血困難者における2セット以上採血採取は困難であり、現状の80%以上は高い比率であると思われるが、他施設と比較してもまだまだ低率であると考えられる。血液培養検査を適切な診断に繋げるためにも85%以上の2セット提出を推奨していきたい。

データ提供 臨床検査部